

発達支援 運動学習に特化

大分市大在の通所施設

【大分】発達や発語に遅れや障害のある子どもを対象にした療育施設「ウォルト」が大分市大在地区に開所した。同施設によると、運動学習に特化した民間の障害児通所事業所は県内では珍しい。

昨年10月に地区内の須賀に開所。児童発達支援と放課後等デイサービスを運営する。理学療法士、言語聴覚士、作業療法士が在籍。独自のプログラムで子どもたちの成長をサポートしている。

児童発達支援は、医師などから療育の必要があると



跳躍器具などを使って楽しく体を動かすことで子どもの発達をサポート―大分市須賀のウォルト

跳躍器具や鉄棒で楽しく

「将来の自立へ力付けたい」

徒が通う放課後等デイサービスにも運動療育を組み込む。

言語聴覚士による発語や構音の訓練、速度の速い音声情報を聞き取る「速聴」もトレーニングに取り入れる。

県内に社会福祉法人の療育センターや、リハビリの専門職による機能訓練をする医療機関はある。ただ、利用者の多さなどから、予約が取りづらく、小学校に

上がる時点で「卒業」となるという。

但馬怜生施設長は「年齢が上がっても療育を受けたという保護者もいる。必要としている人たちの受け皿になり、子どもたちの未来を見据え、自立のための力を付けてあげたい」と話している。

問い合わせはウォルト（097・589・8161）。

（玉井美智子）



大分市大在地区に開所した療育施設「ウォルト」